

令和8年6月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	2	野口 勉 悠	15日 (月)
2	1	神保 貴 雄	
3	16	寺口 友 彦	
4	3	笠原 大 輔	
5	13	中沢 道 夫	
6	18	中沢 一 博	16日 (火)
7	11	目黒 哲 也	
8	4	山田 勝	
9	7	上村 寿美子	
10	9	大平 剛	17日 (水)
11	10	阿部 一郎	
12	5	黒岩 揺 光	
13	14	田中 せつ子	
14	8	梅沢 道 男	
計		14名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問 順位	質問内容
1	1 塩沢織物のPRについて
議席	(1) 市は織物のプロモーションを考えているか。
2	(2) 織物のPRに地域おこし協力隊の参画予定は。
野	(3) 着物イベントの開催予定は。
口	2 南魚沼市デザイン力向上について
勉	(1) 市はゼッピンディナーバスなどのイベントをどうデザインしてきたか。
悠	(2) 市として個人事業主の販売力向上に寄与していることはあるか。
	(3) 講師を招いて講座などを開く予定はあるか。
	3 原付・小型特殊自動車のご当地ナンバープレートの予定は
	4 市配布物のWeb化を検討しているか
(二問一答方式)	

質問 順位	質問内容
7	<p style="text-align: center;">部活動の地域展開の現状について</p>
議席	
11	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">目黒哲也</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(一問一答方式)</p>	<p>全国的に少子化による部活動の維持困難、教員の働き方改革、指導の質の向上と多様なニーズへの対応等の課題があることから、当市でも学校内だけでなく地域と連携した地域クラブ活動への展開を令和8年4月から進めている。</p> <p>これまでの部活動は、単なる技術や競技力の向上にとどまらず、自主性・協調性の育成、豊かな人間関係の構築、心身の健康増進という3つの大きな教育的意義を持ち、学級や学年を超えた集団活動の中で、社会で生きる実践的な力を学べる場として位置づけられてきた。学校教育の一環として教員が担ってきたことで、全ての生徒が希望する部活動に所属し、スポーツや文化活動に参加する機会が確保され、また能力差や適性に配慮された公平性、そして従来は学校やPTAが一定の支援を行ってきたため経済的な格差が生じにくかった。</p> <p>(1) 生徒の部活動への参加状況は。</p> <p>(2) 教員の負担は実際に軽減されたのか。</p> <p>(3) 地域クラブの指導者の確保状況は。</p> <p>(4) 地域クラブが活動する会場の確保状況は。</p> <p>(5) 生徒や保護者への活動費や活動場所への移動について負担感の実情と大会や遠征等に利用するバス支援の利用状況は。</p> <p>(6) 万が一のけがや事故に備えて傷害保険には加入していると思うが、全地域クラブで賠償責任保険にも加入しているのか。</p>

質問 順位	質問内容
9	子どもの夢と自立を支える取組について
議席	
7	<p>本市では妊娠、出産、保育、医療など様々な子育て支援の充実が図られており、その取組は大いに評価するところである。</p>
<p>上 村 寿 美 子</p> <p>（一問一答方式）</p>	<p>一方で、子どもの成長に伴い、習い事や部活動、高校、大学、専門学校への進学など、教育に係る負担は大きくなり、子どもが就職するまでの間、保護者の負担や不安は続いていく。</p> <p>人生には子育てだけではなく、就職、病気、介護など様々な踏ん張りどきがある。市民一人一人にも覚悟や責任が必要だが、一人の力だけでは乗り越えられない場面もある。</p> <p>本市では大規模事業や施設整備も進められているが、将来世代にとって、あってよかったと思えるようなまちにしていくという視点も重要である。困難や壁に直面したときにこのまちならなんとかなると思える安心感や支えが、将来世代にとって、希望を持って暮らし続けられるまちにつながるのではないかと考える。</p> <p>また、多子世帯への支援は様々な形で行われているが、上の子が就職などにより扶養から外れることで、多子世帯としての対象から外れてしまうケースもある。しかし、実際には外れた上の子の教育費の返済、下の子の教育費や生活費の負担は続いており、家庭の経済的負担が急に軽くなるわけではない。苦勞してきた親の姿を見てきた子が親となり、2人目、3人目を諦めるという話も聞く。同じような思いを抱えている家庭がほかにもあると思っている。</p> <p>(1) 義務教育後の教育に係る負担の実態を把握しているか。</p> <p>(2) 多子世帯が無条件で受けられる支援へ変更や緩和の検討はあるか。</p> <p>(3) 子どもの進学、自立を支える家庭への支援についてどのように考えているのか。</p> <p>(4) 子どもの成長や自立を支える家庭が安心して暮らせる環境を市長はどう考えるのか。</p>

質問 順位	質問内容
10	<p>1 市道の整備について</p>
議席	<p>(1) 長期的なインフラ維持についての方策は。</p>
9	<p>(2) 交通事故防止についての方策は。</p>
大 平 剛	<p>(3) 雪国魚沼Golden Cycle Routeのさらなる整備の考えは。</p>
	<p>2 南魚沼市学校給食センターの活用について</p> <p>令和8年4月から運営を開始した南魚沼市学校給食センターの活用について、考えを伺う。</p>
(二問一答方式)	

